

首都大教員が
新入生に贈る
図書 2017-2018



首都大学東京図書館本館

この冊子に掲載されている本は、
本学の先生方が
新入生に読んでほしい本
として推薦して下さった本です。
ぜひ手に取ってお読みください。

2018年4月から図書館本館 1 F メディアスペース
奥の展示架に展示しています。



展示場所は
こちら

- * 全て貸出可能です。貸出中の本は予約できます。
- * この冊子に書かれている配置場所は、展示期間終了後の配置場所です。

首都大教員が新入生に贈る図書一覧 2017-2018

所属	教員名	タイトル
経済経営学部 経済経営学科	荒戸 寛樹先生	論理学
		原因と結果の経済学： データから真実を見抜く思考法
		新版 論文の教室：レポートから卒論まで
経済経営学部 経済経営学科	松岡 多利思先生	大聖堂(上・中・下)
		二都物語
		草枕
理学部 数理科学科	鈴木 登志雄先生	入門！論理学
		例題で学ぶ集合と論理
都市環境学部 建築学科	吉川 徹先生	丹下健三：戦後日本の構想者
都市環境学部 建築学科	北山 和宏先生	アルジャーノンに花束を
都市環境学部 環境応用化学科	首藤 登志夫先生	ガラス玉演戯
		かもめのジョナサン
		グスコブドリの伝記
都市環境学部 環境応用化学科	稲垣 佑亮先生	ご冗談でしょう、ファインマンさん(上・下)
		世界の測量：ガウスとフンボルトの物語
		二重らせん
都市環境学部 環境応用化学科	教員	自然界における左と右(新版)
		環境リスク学：不安の海の羅針盤
都市環境学部 都市政策科学科	山本 薫子先生	革をつくる人びと：被差別部落、客家、ムスリム、ユダヤ人たちと「革の道」
		築地
		福島インサイドストーリー： 役場職員が見た原発避難と震災復興
システムデザイン学部 機械システム工学科	角田 直人先生	エントロピーと秩序：熱力学第二法則への招待
		錆と人間：ビール缶から戦艦まで
健康福祉学部 理学療法学科	竹井 仁先生	姿勢の教科書
		筋肉と関節のしくみがわかる事典：ビジュアル版
大学教育センター	伏木田 稚子先生	本を読む本
オープンユニバーシティ	小泉 徹先生	ミッキーマウスの憂鬱
オープンユニバーシティ 人間健康科学研究科 ヘルスプロモーション サイエンス学域	菅又 昌実先生	世界でもっとも美しい10の科学実験
		人間はどこまで耐えられるのか
		人類はどこから来て、どこへ行くのか

経済経営学部 経済経営学科 荒戸寛樹先生

『論理学』

野矢茂樹/著
東京大学出版会, 1994.

配置場所： 2F一般書架
請求記号： 116/00003
資料 I D： 015394806

大学の勉強だけでなく今後の人生においても、新聞・教科書・書籍・論文を読んでただ暗記したり、自分にとって心地良い結論だから信じるという読み方だけでなく、書いてあることが本当に正しいか考えながら読むことが重要です。その判断基準の1つは、論理展開が正しいかどうかです。本書は、「正しい論理展開とは何か」を知る上でとても有益です。全5章ですが、第2章までを特にオススメします。



『原因と結果の経済学』

：データから真実を見抜く思考法』

中室牧子，津川友介/著 ダイヤモンド社，2017.

配置場所：3F一般書架
請求記号：331.19/N37g/2017
資料ID：10004699023

書いてあることが正しいかどうか判断する上でもう一つの重要な基準は、データを正しく扱っているかどうかです。データを使っていると結論も正しく見えがちですが、正しい扱い方をしていなければ間違った結果を導いてしまいます。データに騙されないための基礎知識として、本書をオススメします。



『新版 論文の教室：レポートから卒論まで』

戸田山和久/著 NHK出版，2012.

配置場所：2F学生用
請求記号：816.5/To17r/2015
816.5/To17r/2012
資料ID：10004292910
10002724435



前の二冊で「正しく読む」ことを少し知ることができたら、この一冊で「正しく書く」ことを少し知りましょう。多くの人にきちんと自分の言いたいことが伝わるような文章を書くことは大変重要なスキルであるにも関わらず、ほとんどの人は全く習ったことがないと思います。

日本語を正しく使って伝わる文章を書くための本として、本書は長く読み継がれています。レポートや卒業論文を書く時に、卒業後に書類を作成する時にと、一生使える本です。第7章～第9章が特にオススメです。

経済経営学部 経済経営学科 松岡多利思先生

『大聖堂』上・中・下

ケン・フォレット/著 矢野 浩三郎/訳
SBクリエイティブ, 2005.

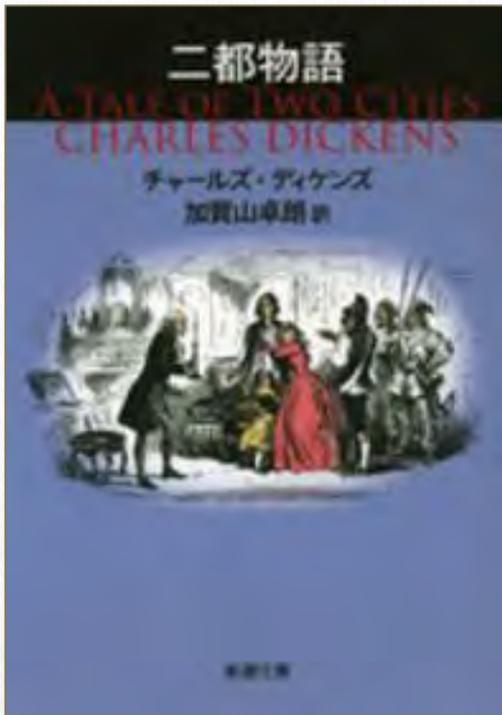
配置場所：2F一般書架

請求記号：933/F37d/1, 933/F37d/2, 933/F37d/3

資料ID：10005003993, 10005004008, 10005004016



12世紀イングランドを舞台とした壮大な歴史小説。1冊600ページを超える全3巻のボリュームだが、読み出したら止まらない! あらゆる試練に耐えながらも懸命に生きる登場人物に心打たれます。本当に出会えて良かったと思える小説の1つです。



『二都物語』

チャールズ・ディケンズ/著
加賀山卓朗/訳
新潮社, 2014.

配置場所：2F一般書架
請求記号：933/D72n/2017
資料ID：10005003985

フランス革命前後のロンドンとパリを舞台に繰り広げられる壮大なヒューマンストーリー。
友情・愛情・憎しみ・悲しみ・恐怖など全ての感情を「体験」出来る傑作中の傑作です。
これまでの人生で数回読み返した小説の一つ。

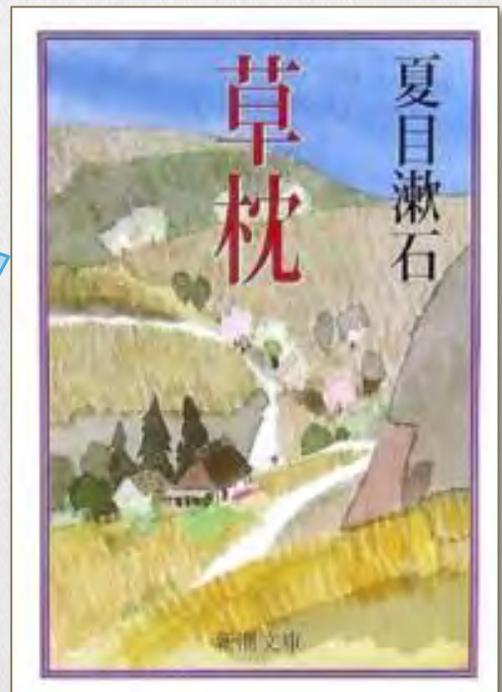
『草枕』

夏目漱石/著 [改版]. 新潮社, 2005.

配置場所：2F一般書架
請求記号：913.6/N58k/2016
資料ID：10005004024

山路を登りながら、こう考えた。智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい。

この冒頭は教科書に載る程に有名ですが、実際に読んだことのある人は少ないでしょう。漱石の芸術感、物語の絵画的美しさ、そして本文中の多彩な語彙を楽しんで下さい。
私の大好きなピアニスト、グレン・グールドも繰り返し愛読していました。



理学部 数理科学科 鈴木登志雄先生

『入門！論理学』

野矢茂樹著 中央公論社, 2006.

配置場所：2F一般書
請求記号：080/C64c/1862
資料ID：10000499577

論理学の教科書ではなく、啓蒙書である。

真理値表による論理学の導入には代数学の香りがつきもので、世の中にはその香りが好きな人とそうでない人がいる。本書は真理値表よりも自然演繹に重点を置いているので、代数学のすっきりした香りではなく、むしろ現代国語の芳醇な香りが漂う。数学的な文章の中の、数式ではない地の文を読解する力を養う上で、栄養になる。

日本の中等・高等教育が、いわゆる理系科目も含めて文章の読み書き力重視の方向へ舵を切る中で、おさえておきたい1冊である。





『例題で学ぶ集合と論理』

鈴木登志雄/著
森北出版, 2016.

配置場所 : 3F学生用
請求記号 : 410.9/Su96r/2016
資料 I D : 10004294974,
10004294966

僭越ながら、拙著を紹介する。本書は集合と論理の教科書である。ベン図は、要素と集合の2階建てからなる世界を表すのに向いているが、集合の集合を考えるのにはあまり向いていない。本書は、ベン図で表せる題材からそうでない題材へと、段階を踏んで進む。授業としての「集合と論理」は1年次の後期に開講するが、数理の学生や数学の教職をとる学生には、1年前期のうちから本書の第0章および、第1章の冒頭部分を自習してもらいたい。野矢「入門！論理学」の併読もすすめる。

都市環境学部 建築学科 吉川 徹先生

『丹下健三：戦後日本の構想者』

豊川斎赫/著 岩波書店, 2016.

配置場所：2F 一般書架
請求記号：080/I95sa/1603
資料ID：10004387794



丹下健三は、世界的な大建築家であるだけでなく、科学としての都市計画の確立、数多くの優れた建築家・都市計画家の育成などを通じて、我が国の戦後の都市空間そのものを創造した。本書は、丹下健三の評伝で著名な少壮研究者による読みやすい概説書であり、我が国の都市空間の未来を考える重要なヒントを与えてくれる。

都市環境学部 建築学科 北山和宏先生

『アルジャーノンに花束を』

ダニエル・キース/著 小尾芙佐/訳 早川書房, 2015

配置場所：2F学生用
請求記号：933/Ke67a/2015
資料ID：10005045994



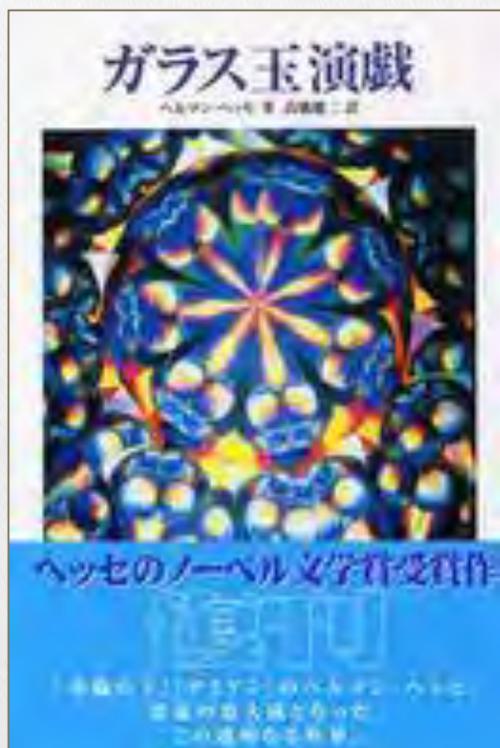
これはSFなのでしょう。今から半世紀以上前に書かれた小説ですが、ひとの生の残酷な真実をあぶり出しています。わたくしにとっては戦慄の書でした。アルジャーノンは脳外科手術によって知能が異常に発達したネズミです。そのネズミと迷路ゲームをしてもかなわなかったのがチャーリー・ゴードン、この小説の主人公です。IQ68だったチャーリーがアルジャーノンと同じ手術を受けて知能を回復し、手術をした科学者達をも凌駕するような天才になって行きます。だが、彼には残酷な運命が待ち受けていました。その行き着く果ては…。ここから先は本書をお読み下さい。SFならば、どのような脳手術をしたのが興味が湧くところですが文中には何の説明もなく、チャーリーが発見した「アルジャーノン・ゴードン効果」とは何かという説明もありません。しかし、人間の精神はひとの脳によって産み出され、人間の脳の複雑さや神秘さという観点からこの小説が書かれたと思えば、それはやっぱり科学に依拠している、すなわちSFということになるのでしょうか。

都市環境学部 環境応用化学科 首藤登志夫先生

『ガラス玉演戯』

ヘルマン・ヘッセ/著 復刊ドットコム, 2004.

配置場所：2F学生用
請求記号：943/H153g/2006
資料ID：10005066727



ヘルマン・ヘッセの「ガラス玉演戯」は、学問的真理の探求を志向する人に読んでもらいたい本です。

ヘッセがノーベル文学賞を受賞するきっかけとなった作品です。

私は高校生の頃にヘッセが好きでよく読んでいましたが、他のヘッセ作品では「デミアン」、「シッダールタ」、「メルヒエン」などもお勧めです。ヘッセといえば一般的には「車輪の下」や「荒野の狼」が有名ですが、これらは面白くないと思います。

「デミアン」や「シッダールタ」が面白く感じたら、ニーチェの「ツァラトゥストラはかく語りき」やゲーテの「ファウスト」も読んでみるといいと思います。

『かもめのジョナサン』

リチャード・バック/著 五木寛之/訳
新潮社, 1974.

配置場所：2F学生用
請求記号：933/B13k/1974
資料ID：10005066735

リチャード・バックの「かもめのジョナサン」は、1960年代後半から1970年代前半のアメリカ西海岸のヒッピー文化の純粋な精神性を表わすような作品です。生きることの意味、自分の生き方を貫くこと、個人と集団の関係などについて考えさせられると思います。現代の行き過ぎた利己主義的競争社会に対する反動で、自然回帰、相互扶助、平和主義といったヒッピー的な価値観が見直される時代が今後来るかもしれないように感じます。

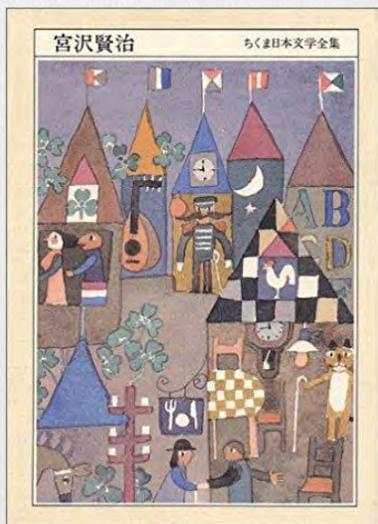


『グスコブドリの伝記』

(『宮沢賢治：1896-1933』 『校本宮澤賢治全集 第10巻』等に収録) 宮沢賢治/著 筑摩書房, 1991., 1973.

配置場所：2F一般書架
請求記号：910.8/C44c/3
資料ID：013526621

配置場所：B2F北_和図書
請求記号：918.6/MI89MK/10
資料ID：000768633



宮沢賢治の「グスコブドリの伝記」は、エンジニアを目指す人に読んでもらいたい作品です。主人公の自己犠牲の精神の美しさを感じるものがあると思います。明治生まれの宮沢賢治が二酸化炭素による温室効果を認識していたことにも驚かされます。工学は様々な学問分野の知見を応用して人間の生活や社会のために役立てるものですが、エンジニアとして本当に良い仕事をするには公共の福祉を志向する意識が大切だと思います。

宮沢賢治の作品では、「ビジテリアン大祭」や「なめとこ山の熊」などもお勧めです。

都市環境学部 環境応用化学科 稲垣佑亮先生



『ご冗談でしょう、 ファインマンさん』

R. P. ファインマン/著 大貫昌子/訳
岩波書店, 2000.

配置場所： 2F一般書架
請求記号： 289.53/F23g/1
289.53/F23g/2
資料 I D： 007427951
007427960

この本の面白いところは、ファインマン自身が書いた自伝ではなくて、彼が同僚の息子であるラルフ・レイトンに語った話をエピソードとしてまとめたものであるという点である。有名な教科書「ファインマン物理学」も、元は物理教育の改革に取り組んでいたマシュー・サンズが印象的な話をすることで知られるファインマンに講義を依頼することを思いついたことがきっかけだったそう（「ファインマン流 物理がわかるコツ」）。これらの事実ですら一つのエピソードと言えそうで、ファインマンという人はまさに周りが放っておかないタイプの人だったということが分かる。

各エピソードは、ファインマンの失敗談など経験に基づいたものであるが、それらがただ面白いというだけでなく、それらの体験によって彼が何かを学んだという人間的な成長が感じられる。多くの人がこの本を推薦するのは、この本にそんな人生における教訓が満ちているからではないかと思う。それから、語りの名手として伝説的になっているファインマンも小さい頃はシャイな子供だったという。この本を読んでどれだけ勇気を与えられたか分からないし、人生を楽しむヒントを与えてくれたと思う。

他のエピソードと少し趣が異なるものに、下巻の最後に「カーゴ・カルト・サイエンス」という題でカルフォルニア工科大学1974年卒業式式辞の内容がある。科学と疑似科学の違いは何か、科学を通して学ぶべき最も大切なこととは何か。科学に携わろうという人にぜひ読んで欲しい。

『世界の測量：ガウスとフンボルトの物語』

ダニエル・ケールマン/著 瀬川裕司/訳
三修社, 2008.

配置場所：2F 学生用
請求記号：943/ke19s/2008
資料ID：10005066719

この本のタイトルにある測量は、もちろん地図を作る時の測量のことでもあるが、自然科学的な意味における世界を知ることでもある。この本はガウスとフンボルトを二人の主人公とした“小説”で、この二人の史実に基づいた“正確な伝記”という訳ではない。小説が事実よりも鮮やかに著者の意図を描き出せるものとしたら、この小説はまさにそんな類のものだろう。他人と比べて卓越しすぎた頭脳を持っているが故の苦悩や世界の真理を追求していく衝動のようなもの、いろいろなことが分かっていなかった時代であるが故の大冒険の数々を味わうことができる。この本には科学的な側面だけでなく、家族、友人、恋人など、人生そのものについてもユーモアを交えて語られているので、読むのに苦労するということはないだろう。

また、「ドイツ人的である」という言い回しがどんな意味なのか、この本を読めば大体雰囲気がつかめるだろう。



『二重らせん』

ジェームス・D・ワトソン/著
江上不二夫, 中村恵子/訳
講談社, 2012.

配置場所：3F 学生用
請求記号：464.2/W48n/2017
資料ID：10005004057



この本は、DNAの構造を見出すに至った過程を、ワトソン本人が個人的な印象に基づいて記したものである。発見者本人のものというだけあって、また著者の率直すぎると言っても良い性格のせいもあるのか、非常に読みやすく面白い読み物になっている。研究の進展を共有できるという楽しみも当然あるが、研究に関わる微妙な人間関係を垣間見ることができるのが特徴と言える。DNAの「二重らせん」モデルと言われると、ワトソンとクリックの名前が浮かぶ。一方、ノーベル医学・生理学賞を彼らと共に受賞したモーリス・ウィルキンスという人物がいる。モーリスは、ワトソンやクリックとは別の研究機関で彼らより以前からDNAの研究を始めていて、モーリスの収集していたX線回折の実験データが二重らせんモデルの重要な根拠となった。ワトソンとクリックはモーリスらとは別のやり方、分子模型を使うことによって、うまく構造を導き出すことができた。さらに事態が複雑になっていた理由の一つに、モーリスと彼の共同研究者で女性のX線結晶学者であるロザリンド・フランクリンとの間の人間的確執があったという。そんな中、クリックら（イギリス）とたんぱく質の α -ヘリックス構造を発表した化学者ライナス・ポーリング（アメリカ）との間のノーベル賞を争っての競争が加わっていく。

研究は1950年代に行われたもので、研究テーマに関する状況は当時と現在とではだいぶ様変わりしていると思う。一方、研究がどんなものかという本質的な部分や研究者が直面する様々な困難については、それほど変わらないように思う。本書を読んでリアルだと感じるのは、人に関する印象というものが立場や状況によって、微妙に変化していくことである。途中で読むのを中断しないで、一気に読んでいただきたい。また、他の関係者による著作も出ているようである。

都市環境学部 環境応用化学科 教員

『自然界における左と右（新版）』

マーティン・ガードナー/著

坪井忠二, 藤井昭彦, 小島弘/訳 紀伊国屋書店, 1992.

配置場所： 3F学生用

請求記号： 404/00019

資料ID： 015303110



「左と右」というキーワードだけで、数学・物理・生物・化学などあらゆる分野における身近な話題から高度な問題までを紹介し、楽しく考えさせてくれる名著です。数学パズルの名手として有名な著者だけに、たっぷりと頭をひねらせてくれます。

「鏡が左右を反転するのに、上下が反転されないのはなぜか」とか、「遠い宇宙に住む異星人に左右を伝えるにはどうしたらいいか」というオズマ問題など、答えを知るためではなく自分でまずじっくり考えてほしい問題が満載です。

ちなみに後者はすでに解決済みですが、パリティ対称性の破れを利用する方法で、ノーベル物理学賞の小林一益川理論とも関連があります。

『環境リスク学：

不安の海の羅針盤』

中西準子/著 日本評論社, 2004.

配置場所： 3F一般書架

請求記号： 519.1/N38k/2004

資料 I D： 007159380



ダイオキシン、環境問題、狂牛病などさまざまな環境問題に科学者として如何に取り組み、「リスク」にどのように向き合ったか、著者の生き方は多くのことを考えさせてくれます。

いまま地球温暖化やエネルギー問題など多くの問題が山積していますが、ファクトをもとに科学的に「リスク」と取り組む著者のような姿勢がこれからも大切だと思います。

タイトルから固い教科書のように思うかもしれませんが、著者の波乱万丈な研究者人生は読み物としても面白く、孤立無援でもめげずに研究に打ち込み、どれほど批判されても信念を貫いたやり方は若い方にも参考になるでしょう。

都市環境学部 都市政策科学科 山本薫子先生

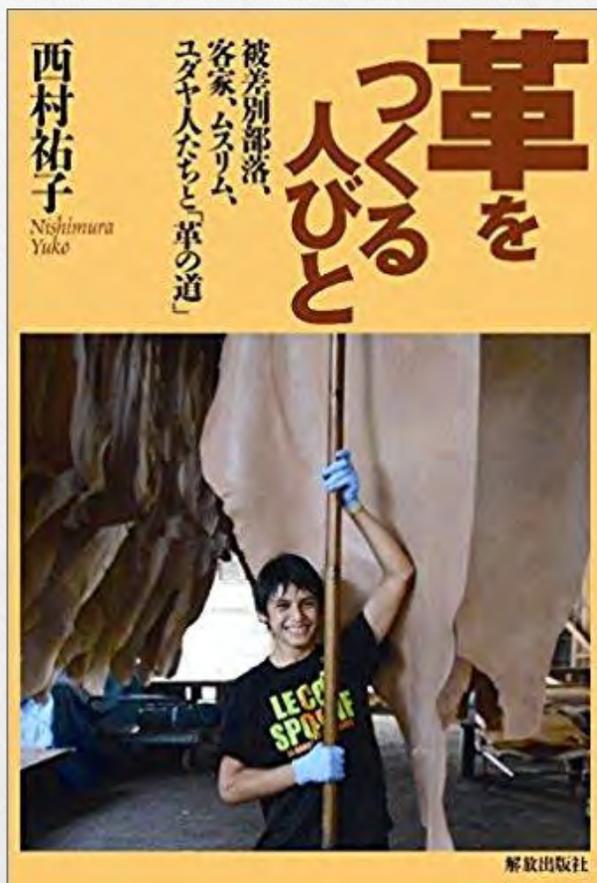
『革をつくる人びと：被差別部落、客家、ムスリム、
ユダヤ人たちと「革の道」』

西村祐子/著 解放出版社, 2017.

配置場所：3F学生用

請求記号：584/N84k/2017

資料ID：10005045937



人類学者である著者が、世界各地で皮革産業に携わっている人々を訪ね、その職人性、専門技術とそれらを支える技術者集団（コミュニティ）の協力関係やつながりについてわかりやすく説明している。皮革産業という1つの視点から世界に共通する広い視野（文化、歴史、技術など）への展開の仕方はこれから大学で学ぶ学生にとって参考となるだろう。

『築地』

テオドル・ベスター/著 和波雅子, 福岡伸一/訳 木楽社, 2007.

配置場所：2F学生用
請求記号：675.5/B39t/2007
資料ID：10000779902

築地市場の歴史、機能や仕組み、市場に関わって働く人々の労働、社会について、アメリカ人類学者が現地調査に基づいてまとめた一冊。原著は2004年。改めて築地市場の歴史や文化を知るための資料としても、良質の社会調査による成果の一例としても読むことができる。



『福島インサイドストーリー： 役場職員が見た原発避難と震災復興』

今井 照, 自治体政策研究会/編著 公人の友社, 2016.

配置場所：3F学生用
請求記号：369.3/I43f/2016
資料ID：10005046729



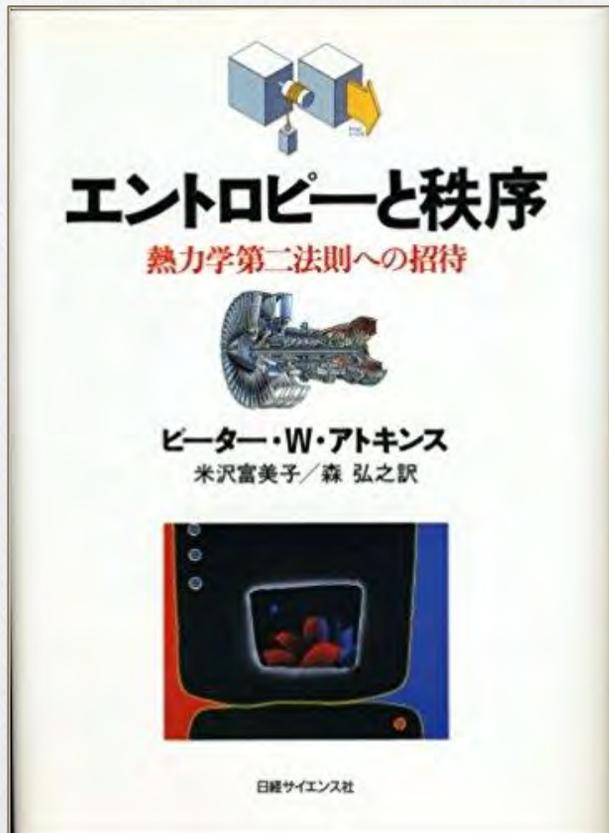
2011年3月の東日本大震災、福島第一原発事故では各自治体職員は自身や家族も被災者でありながら、緊急の住民対応や復興に尽力してきた。当時、現場で奮闘した自治体職員のリアルな声、経験を知ることで、これからの被災地自治体の復興について考えることができる。

システムデザイン学部 機械システム工学科 角田直人先生

『エントロピーと秩序：熱力学第二法則への招待』

ピーター・W・アトキンス/著
米沢富美子，森弘之/訳。
日経サイエンス社，1992。

配置場所：3F学生用
請求記号：426.5/A94e/2013
資料ID：10005043014



身近な現象から先端研究までを取り上げ、エントロピーの重要性を分かりやすく解説しています。熱力学や化学反応の理解が深まります。

尚、訳者は本学物理学科の森弘之先生です。

『鑄と人間：ビール缶から戦艦まで』

ジョナサン・ウォルドマン著；三木直子訳. -- 築地書館, 2016.



配置場所：3階一般書架
請求記号：566.7/W36s/2016
資料ID：10005011590

近代文明における鑄との格闘を科学的かつ社会的な視点から描いた良書である。

健康福祉学部 理学療法学科 竹井 仁先生



『姿勢の教科書』

竹井仁/著 ナツメ社, 2015.

配置場所 : 3F学生用
請求記号 : 492.5/Ta62s/2017
資料 I D : 10004990449

不良姿勢は、さまざまな身体の不調の原因になります。
健やかに成長し、穏やかに熟成するために、正しい姿勢を再獲得して、
正しい動きにつなげることが人にとって大切なことです。
この本から、正しい姿勢と様々な不良姿勢を知り、その不良姿勢を修正
するストレッチングやエクササイズを知ることが、医療従事者として大
切なことになります。
自分の不良姿勢に気づき、他人の不良姿勢に気づき、患者様の不良姿勢
を直せる医療従事者になっていただきたい。そのエッセンスが詰まっ
ている本です。
姿勢の教科書の第2弾もそのうち出版されます。

『筋肉と関節のしくみがわかる事典 ：ビジュアル版』

竹井仁/著 西東社, 2013.



配置場所： 3F学生用
請求記号： 491.3/Se19k/2015
資料 I D： 10004993393

解剖学や運動学を学ぶための参考書として良い本です。
イラストも多く、分かりやすい構成になっています。
基本的な内容だけでなく、ケガや外傷に関する説明もされており、医療従事者にとっては参考になる本です。

大学教育センター 伏木田稚子先生

『本を読む本』

M. J. アドラー, C. V. ドーレン/著
外山滋比古, 槇未知子/訳
講談社, 1997

配置場所：2F一般書架
請求記号：080/Ko19k/1299
資料ID：015328937



「読む」ことは「学ぶ」ことである。本書が発しているこのメッセージについて、その意味を考えながら読み進めるうち、読書という行為は、積極的に本に働きかけることで、新たな発見が得られる営みだと気づくことができます。情報や知識を得るだけでなく、理解を深めるための読書は、これから学び続けていく上での礎となるでしょう。読書のレベルや技術を中心に、考えながら読むことの基本姿勢が身につく1冊です。

オープンユニバーシティ

小泉 徹先生

『ミッキーマウスの憂鬱』

松岡圭祐/著 新潮社, 2008

配置場所： 2F一般書架
請求記号： 913.6/Ma86m/2017
資料 I D： 10005022688

これはフィクションであるが、主人公が「夢と魔法の国」の裏方の世界に入り、様々な出来事を経験しながら大人になっていく姿を通して、我々が知り得ないディズニーのバックステージの様子がノンフィクションのごとく描かれている。専門書ではないがサービス企業の「現実」を垣間見ることのできる楽しめる小説であるだろう。



オープンユニバーシティ
人間健康科学研究科
ヘルスプロモーションサイエンス学域
菅又昌実先生

『世界でもっとも美しい10の科学実験』

ロバート・P・クリース/著 青木薫/訳 日系BP社, 2010

配置場所： 3F一般書架
請求記号： 402.8/C92s/2006
資料 I D： 10000639585



科学は形容詞や副詞を出来るだけ除いて語られなければならない。しかし、厳しい評価に耐えて残った、科学法則はその証明過程がしばしば美しいと称されることも事実である。

本書は、こうした“美しい”という事が許される10の科学実験を紹介したものである。地球の外周を測る、斜塔の伝説—球を落とす、ガリレオと斜面、プリズムを使った太陽光の分解、地球の重さを量る、地球の自転を見る—フーコーの振り子、電子を見る、ラザフォードによる原子核の発見、一個の電子の量子干渉。どうしてこの10の実験を美しいといえるのか。大学に入り科学に身を委ねようと思う若者は是非手に取って読もう。

『人間はどこまで耐えられるのか』

フランセス・アッシュクロフト/著 矢羽野薫/訳 河出書房新社, 2002.

人間は非常に限られた狭い環境条件の中で生存している。しかし、極めて過酷な環境条件の中でヒトは生存を可能とすることも知られている。

本書はそうした環境条件におけるヒトの生存について記録したものである。ヒトはどの位高く登れるのか、どのくらい深く潜れるのか、どのくらいの暑さ・寒さに耐えられるのか、どのくらい早く走れるのか、宇宙では生きていけるのか、生命はどこまで生存可能なのか。

人類はいずれ太陽よりもより離れた星－例えば火星－に移住しなければ生存できない運命にある。ヒトの生存の限界－どこまで耐えられるのかを知ることは極めて重要である。

配置場所： 3F学生用
請求記号： 491.3/A92/2002
資料ID： 10005025939



『人類はどこから来て、どこへ行くのか』

エドワード・O・ウィルソン/著 斉藤隆央/訳 巖佐庸/解説 文藝春秋, 2004.

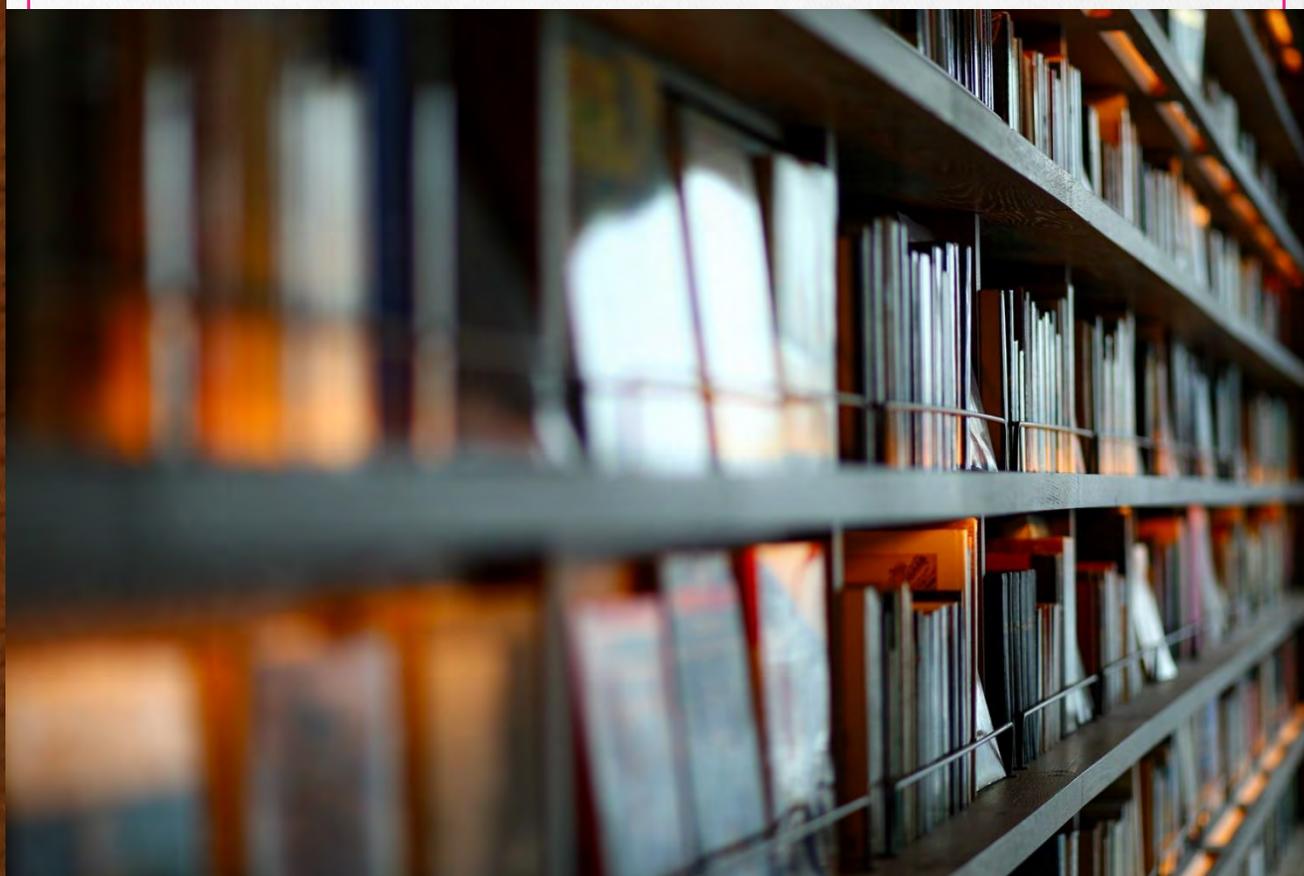
配置場所： 3F一般書架
請求記号： 481.7/W75j/2013
資料ID： 10003167725



人類が誕生して以来、変わらぬ問い、“われわれはどこから来たのか、われわれは何者か、われわれはどこへ行くのか” 著者はもちろんこの問いに対する答えを示すことは出来ない。しかし、この問題をどのように考えればよいのかについて有用な提案をしている。なぜ高度な社会性を持つ生命が存在するのか。特に二つ目の問い、“われわれは何者か”を考へることは、現代のあまりにも混とんとした世界の中での人類の本性を見据えることの重大さそのものであろう。人間の本性、文化の進化と多様性、言語の起源、道徳と名誉の起源、宗教の起源、創造的な芸術の起源について本書を読み込むことで得られるところは大きい。

首都大教員が
新入生に贈る図書

2017-2018



2018年4月発行
首都大学東京 図書館本館 資料管理担当
<http://www.lib.tmu.ac.jp/>